



耐熱・耐寒器具についての注意事項



- 定格を超えて使用しないでください。器具の性能を維持できず、負荷機器の故障、異常発熱や火災の原因となります。
- 使用温度範囲(-50℃～100℃)を超えて使用しないでください。器具が破損する原因となります。
- 破損した器具は使用しないでください。感電や火災の原因となります。
- プラグの刃が変形あるいは損傷した器具は使用しないでください。発熱や誤挿入の原因となります。
- プラグの抜き差しが極端にゆるくなっていたり、ぐらつく場合は使用しないでください。発熱や火災の原因となります。
- 濡れた手で器具の抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 結露が発生する環境下では使用しないでください。漏電の原因となります。
- アースは必ず配線してください。アースを配線しないと、万一漏電した場合に感電や火災の原因となります。
- 使用中の振動やヒートサイクル等で、端子ねじに緩みが発生する場合があります。1年に1回の定期点検と端子ねじの増締めを実施してください。
- 使用中の器具や電線を触れたときに熱く感じた場合は、直ちに使用を中止してください。器具に異常が発生している可能性があります。
- 器具に貼付のサーモラベル(日油技研工業：1K-125)は、125℃まで温度が上昇すると白い丸が消え、背景と同じ黒になります。
サーモラベルの白い丸が黒になった場合は、直ちに使用を中止してください。使用温度範囲を超えて使用されたことにより、器具が破損した可能性があります。
- 本器具は防水器具ではありません。防水性能を求める場合は、防水形プレートW501-2(別売)と防水丸蓋W501-3(別売)を組み合わせ使用してください。ただし、防水形プレートと防水丸蓋を組み合わせ使用する場合は、使用温度範囲が-50℃～70℃となります。